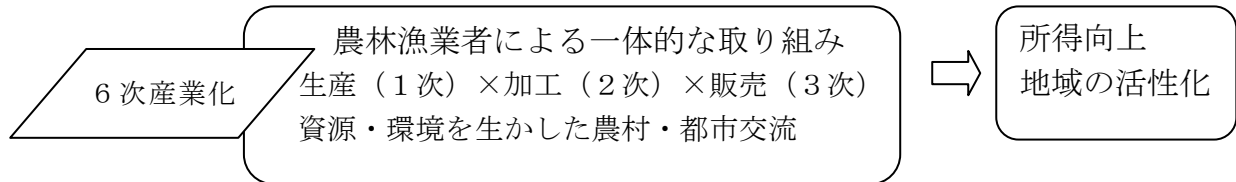


障害者福祉事業所での6次産業化取り組み支援について

1. はじめに



2. 農林漁業経営における農産加工・販売の意義

- 生産物への付加価値づけによる所得向上と経営の安定
- 農村女性の経済的自立と社会参画の促進
- 多様な人の能力発揮と労力が生かせる
- 地域の活性化
- 食料自給率の向上



3. 千葉県農家の農産物加工・販売の現状（千葉県）

(1) 主な加工商品の種類

- 米：赤飯類 弁当 餅 パン 菓子類
- 豆類：味噌 きな粉 惣菜
- 野菜：惣菜（煮物 揚げ物 サラダ 佃煮）漬物 ジャム 菓子 乾物
- 果実：ジャム コンポート ドライフルーツ 焼き肉のたれ 漬物
- 牛乳：アイスクリーム チーズ ケーキ
- 肉類：ハム ソーセージ
- その他：クッキー ケーキ パン まんじゅう

(2) コンセプト

- 自家生産か地域で生産された農産物が主原料
- 農産物の旬を生かす
- 地域に根ざした伝統的な食を生かす
- 生活者の視点で、ていねいに作る

(3) 主な販売方法

- 農産物直売所 自家農場 受託加工 宅配 鉄道の駅 量販店依託

(4) 農産物直売所での加工品売れ筋ベスト3と、消費者の直売所イメージ

- ご飯もの・惣菜・漬け物 新鮮・安い

(5) 千葉県農村女性起業家の年間販売実態（千葉県農林水産部担い手支援課資料による）

100～300万円未満	37%
300～500万円未満	19%
500～1000万円未満	15%
1000万円以上	10%

4. 福祉作業所における加工商品づくり

(1) 販売する場所と方法 マーケティング

- ・顧客のメインターゲット（誰に買ってもらうか）を考える
- ・販売ルート・・・自分たちで売るか、委託販売か、
- ・つきあいや同情でない販売

(2) 加工品を決める視点

- ・ハンディキャップを生かして、機械化、量産化しにくいもので、手をかけてていねいに作ったほうがよいもの
- ・みんなが、参加できる生産工程があるもの
- ・危険作業の少ないもの
- ・地域の農業生産者と連携して、使える地元特産物はないか
- ・消費者ニーズはあるか、買い手が対価価値を感じられそうか
- ・季節的な製造か、通年製造か
- ・消費期限の長いものか、短いものか
- ・製品の特異性が出せるか
- ・器具・機材や施設整備の可能性

(3) 商品づくりのコンセプトを明確にする

- ・安全・安心・おいしい（しっかりとした品質）は基本原則、その上で“売り”を何にするか
- ・小規模な加工・販売では「おもてなし・おすそわけのころ」の感じられる商品づくりがキーワード
- ・原材料にこだわる

(4) 売り上げ目標と製造計画

(5) コスト計算と価格設定

5 消費者ニーズと生産者シーズを合わせた商品コンセプトを考える

